

中区洪水ハザードマップ

洪水浸水想定区域(想定最大規模※)

大岡川水系河川：大岡川、中村川、堀川
 帷子川水系河川：帷子川、石崎川

この洪水ハザードマップは、大岡川水系等の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただくために作成したものです。

※想定最大規模とは「想定し得る最大規模の降雨」による氾濫を前提として予測したものです。

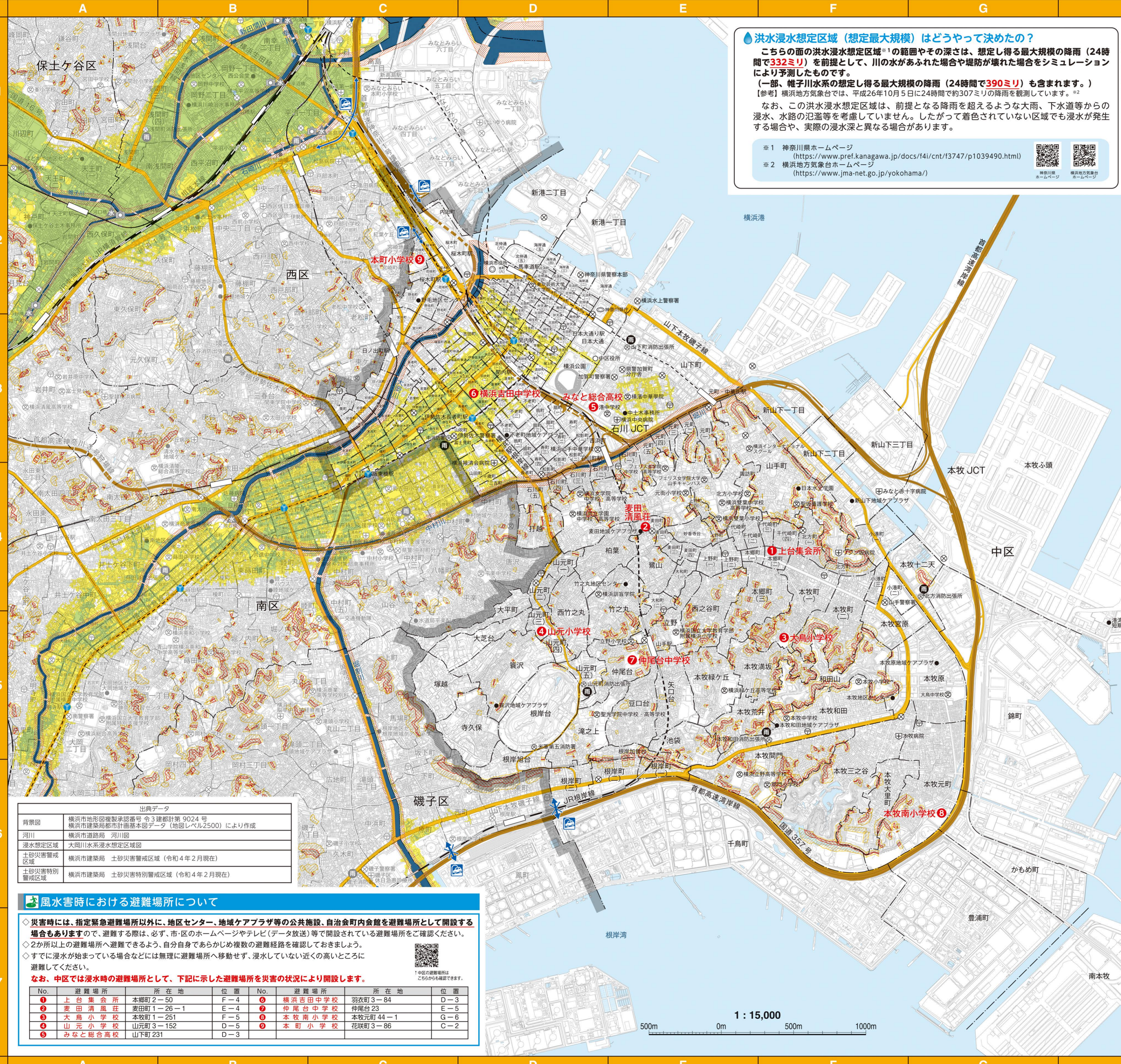


洪水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの？

こちらの面の洪水浸水想定区域^{※1}の範囲やその深さは、想定し得る最大規模の降雨(24時間で332ミリ)を前提として、川の水があふれた場合や堤防が壊れた場合をシミュレーションにより予測したものです。
 (一部、帷子川水系の想定し得る最大規模の降雨(24時間で390ミリ)も含まれます。)
 【参考】横浜地方気象台では、平成26年10月5日に24時間で約307ミリの降雨を観測しています。^{※2}

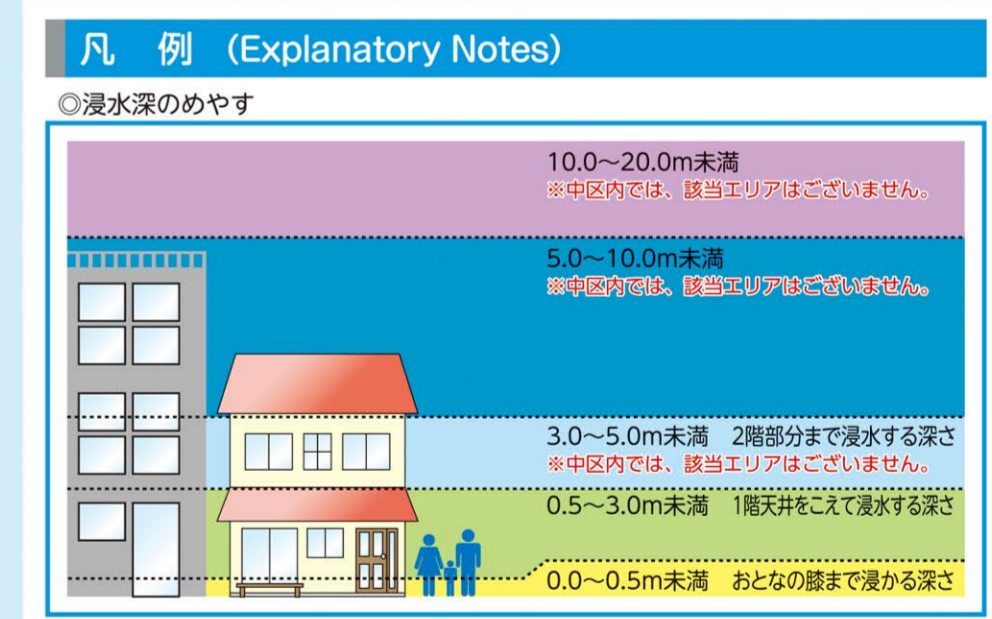
なお、この洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超えるような大雨、下水道等からの浸水、水路の氾濫等を考慮していません。したがって着色されていない区域でも浸水が発生する場合があります。

※1 神奈川県ホームページ
 (https://www.pref.kanagawa.jp/docs/f4i/cnt/f3747/p1039490.html)
 ※2 横浜地方気象台ホームページ
 (https://www.jma-net.go.jp/yokohama/)



想定条件

大岡川水系：24時間で332mmの降雨
 帷子川水系：24時間で390mmの降雨



出典データ

背景図	横浜市地形図複製承認番号 令3建都計第 9024号 横浜市建築局都市計画基本図データ(地図レベル2500)により作成
河川	横浜市道路局 河川図
浸水想定区域	大岡川水系浸水想定区域図
土砂災害警戒区域	横浜市建築局 土砂災害警戒区域(令和4年2月現在)
土砂災害特別警戒区域	横浜市建築局 土砂災害特別警戒区域(令和4年2月現在)

風水害時における避難場所について

◇災害時には、指定緊急避難場所以外に、地区センター、地域ケアプラザ等の公共施設、自治会町内会館を避難場所として開設する場合がありますので、避難の際は、必ず、市・区のホームページやテレビ(データ放送)等で開設されている避難場所をご確認ください。

◇2か所以上の避難場所へ避難できるよう、自分自身であらかじめ複数の避難経路を確認しておきましょう。

◇すでに浸水が始まっている場合などには無理に避難場所へ移動せず、浸水していない近くの高いところに避難してください。

なお、中区内では浸水時の避難場所として、下記に示した避難場所を災害の状況により開設します。

No.	避難場所	所在地	位置	No.	避難場所	所在地	位置
1	上台集会所	本郷町2-50	F-4	1	横浜吉田中学校	羽衣町3-84	D-3
2	麦田清風荘	麦田町1-26-1	E-4	2	仲尾台中学校	仲尾台23	E-5
3	大鳥小学校	本郷町1-251	F-5	3	本郷南小学校	本郷元町44-1	G-6
4	山元小学校	山元町3-152	D-5	4	本町小学校	花咲町3-86	C-2
5	みなと総合高校	山下町231	D-3				

1 中区の避難場所は、こちらからも確認できます。

